

令和6年1月1日発生した能登半島地震に対して、国土地理院は発災直後より様々な災害対応を実施した。ここでは、国土地理院の災害対応に活用された研究成果について報告する。

令和6年1月1日

- 16 : 10 能登半島地震発生
- 16 : 18 **REGARD**による地殻変動情報に関係省庁に配信
- 16 : 18 **SGDAS**による斜面災害及び液状化の発生推定箇所を関係省庁に配信
- 直ちに、空中写真撮影計画の立案を開始し、JAXAに対し「だいち2号」の衛星SAR観測要求を伝達
- 23 : 50 **電子基準点による地殻変動図**を国土地理院HPに公開

1月2日

- 8 : 10 空中写真撮影を開始
- 9 : 00 **「だいち2号」観測データの干渉SAR解析を完了**（同日公開）
- 16 : 00 **震源断層モデル**を公開（地震調査委員会に提出）

1月3日

- 6 : 15 空中写真の公開を開始

1月4日

- 1 : 47 斜面崩壊箇所の判読データの公開を開始。
- 19 : 17 **「だいち2号」観測データの解析による海岸線の変化公開**
（SAR強度画像を用いたRGB合成画像を作成による）
- 以後、「非常態勢」を維持し災害対応を継続中

...

1月30日 石川県珠洲市若山町に出現した上下変位を伴う線状の地表変状公開